

2023年6月29日

## 2023年3月期取締役会の実効性評価結果の概要

ドリームベッド株式会社  
取締役会

### 1. 取締役会実効性評価の目的

当社は、企業経営を継続していく上で、コーポレート・ガバナンスの充実が重要であると認識しており、企業理念（基本理念及び経営方針）を実践して企業価値を高めるとともに、健全な経営管理体制の下で、適時・適正な情報開示により、企業経営の透明性を確保することによって、コンプライアンス経営を積極的に推進してまいります。

このような基本的な考えの下、取締役会の現状を正しく認識のうえ評価することで、取締役会の機能向上を図ることを目的とするものです。

### 2. 評価方法

取締役及び監査役合計10名全員へ次の内容にて記名式アンケートを実施し、自由コメント欄を設けて、2023年3月期の1年間を評価対象期間とする取締役会に対して、それぞれ評価意見を聴取しました。

#### ■アンケート内容

- ・コーポレートガバナンス報告書上の各原則に対する意見
- ・1年間を通じた取締役会運営の自己評価

大問3問、小問合わせ合計10問で実施。

### 3. 評価結果

当社の取締役会は、その果たすべき実効性を十分に発揮していると評価します。

- ・決議事項に対して、出席取締役及び監査役において疑問点を残すことなく納得いくまで議論を重ねており、最終取締役において合理的判断がなされ、ガバナンス上その判断の公正性を監査役において監視できている。
- ・報告事項における社内各担当取締役からの報告に対して、社外取締役及び社外監査役より質問、助言を受ける形で、出席取締役及び監査役による自由闊達な議論がなされることで、取締役会として社内各担当取締役の業務監督に寄与している。

### 4. 課題(2022年3月期課題の対応状況)

当社の取締役会は、2022年3月期の1年間を評価対象期間としたアンケートから課題として捉えた次の項目に対して、それぞれ対応いたしました。

課題	対応案	対応結果
意見交換会などの設置	決議事項を主とする取締役会とは別に、当社の経営課題などについて取締役会とは別に意見交換、情報共有を目的として設置を検討するもの。	2ヶ月に1回取締役会とは別に、取締役会後に意見交換会を実施し、各役員がテーマを持ち寄り、意見交換並びに情報共有し、議論いたしました。
取締役会資料の充実	数値の羅列を防ぎグラフや表を用いて、より議論に資する資料となるよう充実させるもの。	グラフや表を用いての視覚化とともに、商品別、ブランド別、各施策進捗等において、議論に資するよう資料を新設、改訂いたしました。
議題の充実	経営課題のほか、SDGs やカーボンニュートラルに関する新しいビジネスモデルを検討し、利益創出に向けた課題解決のための議論の充実を図るもの。	廃棄ペットボトル100%再生ポリエステル糸の生地を使用した商品や、解体しやすいマットレス（Dream Refine：ドリームリファイン）に関して議論いたしました。

#### 5. 課題(2023年3月期)

当社の取締役会は、は上記2. 評価方法におけるアンケートの分析結果を踏まえ、次の項目を課題として捉え、その改善に向け取り組んでまいります。

課題	対応案
資本コストや株価を意識した取組み	業績優先に中期経営計画施策を確実に実行する。そのため取締役会では数値的検証とともに株価に対する意見交換を実施。
取締役会資料の時間的猶予を持った提供	取締役会招集通知は規程上3日前配信であるところ、それ以前に案内通知しており、会議付随資料も十分に前もっての配信に努めておりますが、同資料の一部が3日前配信になっていない事例もあることから、事務局による社内情報収集と作業効率化により、時間的猶予をもって提供。

以上